

## 平成21年度 学校経営計画書及び自己評価計画書

石川県立田鶴浜高等学校

学校長 山本 登紀男

### 1 教育目標

地域の医療・福祉に貢献できる有為な人材の育成

- ・人を尊び、自らも健全に逞しく生きる
- ・人を慈しみ、自らも技術の向上を図る
- ・人を愛し、自らも豊かな感受性をもつ

### 2 中・長期的目標

#### (1) 学校の現状

- ①生徒は看護・福祉の道へ、高い志をもって入学してくるが、3年間または5年間その意欲を持続することが困難な場面もある。
- ②自ら学ぶ姿勢が生徒に浸透し、専門知識・技術習得に求められる基礎学力が定着してきた。
- ③看護・福祉に要求される基礎体力及び基本的生活習慣は概ね確立されているが、より一層の充実を図る必要がある。
- ④健康福祉科への志望者は減少傾向にあったが、近年、学校理解、生徒募集等の取組により定員の確保が図られつつある。
- ⑤地元への関心の高まりと支援体制の充実により、地域の医療機関、施設への就職者が増加している。

#### (2) 生徒に関する中・長期的目標

- ①基礎学力の充実を図りながら、看護師・介護福祉士に必要な専門知識・技術の習得に努め、正しい職業観を確立する。
- ②看護師や介護福祉士の理念やモラルを身につけ、他者を尊重する「思いやりの心」を育てる。
- ③基礎体力と強く自らを律する精神力を養い、他者と協調・連携し、共に逞しく生きる生徒を育成する。
- ④地域の歴史・伝統・文化について学び、ふるさとを愛する心を育てることで、地域の医療・福祉に貢献する意識を高める。

#### (3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ①教職員として使命と熱意をもって生徒に関わり、保護者・地域・実習先と連携し、信頼関係を構築する。
- ②全教職員が学校運営への参画意識を持ち、目標管理に基づく教育活動を展開することにより、学校の教育力を高める。
- ③学校の説明責任を積極的に果たし、生徒・保護者及び地域のニーズに応える、特色ある学校づくりを推進する。

### 3 今年度の重点目標

- ①新学習指導要領の趣旨を踏まえ、意図的・計画的な学習指導に努めると同時に、高い倫理観に裏付けられる教師の資質向上を目指す。
- ②一人一人の可能性を十二分に引き出す教科指導により、看護師・介護福祉士ともに国家試験合格率100%を目指す。
- ③地域の医療・福祉機関を支える看護師・介護福祉士の役割の大きさの啓発に努め、本校志願者の増加を図る。
- ④部活動や生徒会活動の活性化を図るとともに、看護や福祉の道を進む生徒にふさわしい体力向上に取り組む。
- ⑤わかる授業・魅力ある授業の展開に努めると同時に、現場実習を通して、思考力・知識の活用力・コミュニケーション能力を育成する。
- ⑥看護や福祉の道を目指す生徒として、自らを律し、進んで社会的な生活規範を守り、生命を尊重し、他を思いやる豊かな人間性の涵養に努める。